

発行所
藤中学区
学校運営協
議会事務局

その規模は一日
本一と称され
るほど。まさに
藤枝の魂が響き
渡る3日間です。

郷土の日を設定

がは日の（での
地、に日金）は小今年
域子設「」10中
のど定とを月学も、
伝も。し「郷34地
続たこて休土日校域
にちれ休土日校域

触れ、世代を超えた交流を深める貴重な機会となるよう配慮されたものです。

がせもだとして体ルニ
 学んのけはい験はテ私
 び。で、まを、イた
 の地は完教す大こ・ち
 場域あ結室。切うスコ
 で全りすの教にしクミ
 あ体まる中育したーユ



芽生えるのです。

はばたけ！ふるさとの誇りを担う子どもたち

り、藤枝大祭はその象徴です。多世代が共に過ぎず時間の中で、子どもたちは人とのつながりや、文化の継承の意味を学びます。今年の太鼓も、きつと多くの笑顔と感動が生まれることでしょ。藤枝の鼓動が、未来へと響き渡ります。



積極的な参加を期待

10月3日（金）
 の「郷土の日」には、稲葉小中学校も含め、藤枝中学校区の小学生の皆さんが積極的に参加してくれ、期待しています。
 たとえ参加出来ない場合でも、「郷土の日」の趣旨を踏まえ、実際に見て、「地域の誇り」を感じ取る貴重な一日にして欲しいと思います。